

# 療育研修会

宮城県 支部

◆テーマ 神経・筋疾患における栄養管理  
～特に筋ジストロフィー症について

講師 今野 秀彦

神経・筋疾患患者特に筋ジストロフィー症の患者は嚥下障害になることが多い。対策として、座位保持で頤を引く姿勢で。柔らかく食塊形成のし易い食べ物を、介助で少量ずつ口腔内の奥へ入れる。栄養管理には経腸栄養と経静脈栄養とがあり中心静脈栄養では、挿入する時に気胸・血胸・出血が、挿入した後に感染・抜けた・詰まった等の弊害がある。食事の飲み込みが悪いとき、胃ろうを行う。障害があっても、食事の楽しみを長く維持して欲しいとのお話でした。

◆テーマ 神経・筋疾患に関わる医療福祉制度について

講師 相沢 祐一

医療費制度では、東日本大震災で被災した国民健康保険及び後期高齢者の被保険者に係る一部負担の減免措置が来年3月まで延長される。又今年4月より限度額適用認定証が外来診療でも使える。特定疾患治療研究事業、障害者医療費助成制度、在宅サービスの利用について、訪問看護・訪問介護・訪問入浴・ベッド・車椅子の利用。自立支援法と介護保険法の比較について、社会保障制度の優先順位について等のお話がありました。

# 療育研修会実施状況

宮城支部

参加数 34名

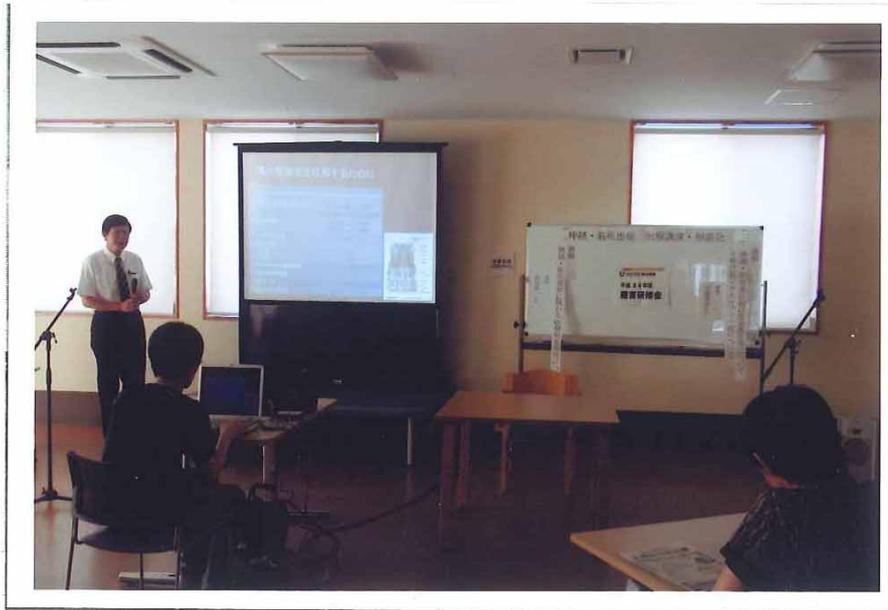
テーマ ◆神経・筋疾患における栄養管理  
～特に筋ジストロフィー症について

◆神経・筋疾患に関わる  
医療福祉制度について

講師 医師 今野 秀彦

社会福祉士 相沢 祐一

実施場所 仙台ワークキャンパス 地域交流ふれあいホール



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

神経・筋疾患における栄養管理のご講演の中で、西多賀病院では、デュシェンヌ型で胃ろうが増えているとのこと。病状が進行し食事が思うように飲み込めなくなり、胃ろうを決心されたものと思われますが、日々の生活も大変なことだと思います。一日も早く治験が成功し、すべての患者が治療できることを願っています。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 療育研修会実施状況

宮城支部

参加数 34名

テーマ ◆神経・筋疾患における栄養管理  
～特に筋ジストロフィー症について

◆神経・筋疾患に関わる  
医療福祉制度について

講師 医師 今野 秀彦

社会福祉士 相沢 祐一

実施場所 仙台ワークキャンパス 地域交流ふれあいホール



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

\* 神経・筋疾患に関わる医療福祉制度について、その病気によって公費負担が変わるとのこと、特に在宅での人工呼吸器を使用するときALSと筋ジスとの違いを聞き驚きました。格差のない制度にしてほしいと思いました。

\* 社会保障制度の仕組み及び自立支援法と介護保険法との違いを教えてくださいましたが、良く理解できない点もありましたので、研修会を再度開催出来る様にして下さい。お願いします。